

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	2626
部 名	保健福祉部	課 名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
事務事業名	高齢者生きがい対策事業				
予算上の事務事業名	高齢者交流事業(親湯会)				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市高齢者交流事業実施要綱 相模原市高齢者交流事業実施細則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	第2期高齢者保健福祉計画		高齢化が進む中で高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるようよう施策等の展開を計画するもの。		
計画年次	15	年度～	19	年度	
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市内の公衆浴場を利用して高齢者の仲間づくりと健康づくりを進めるとともに、相互の交流と親睦を深め、高齢者福祉の向上を図る。			65歳以上の相模原市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
実施方法 一人月4枚の利用券の交付方式 利用者負担 1回の利用につき100円 実施期間 前期 7月～9月 後期 11月～1月 申請者数 前期 1,464人 後期 1,546人 利用件数 前期 12,473件 後期 12,770件 合計25,243件 決算額 25,243×300=7,572,900					
6 関連・類似事業や他市の状況					
藤沢市、対象者=67歳以上、助成券月4枚年48枚交付、利用者負担100円、浴場数6 座間市、対象者=65歳以上(風呂なし)、助成券月10枚年120枚交付、利用者負担なし、浴場数3 鎌倉市、対象者=65歳以上、助成券月4枚年48枚交付、利用者負担100円、浴場数6 茅ヶ崎市、対象者=65歳以上(1人暮らし)、助成券月6枚年72枚交付、利用者負担なし、浴場数5					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	11,328	9,800	10,098	10,970	11,200
一般財源	11,328	7,350	7,573	8,240	8,400
受益者負担金	0	2,450	2,525	2,730	2,800
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,115	560	562	562	562
事業コスト合計(a)	13,443	10,360	10,660	11,532	11,762
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	親湯会		対象名称(単位)	65歳以上の市民(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	13,443	10,360	10,660	11,532	11,762
対象数	77,535	81,997	86,820	92,000	97,000
単位あたり経費(円)	173	126	123	125	121
前年度比		0.73	0.97	1.02	0.97

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	利用率（発行総件数の利用 率%）	指標式と指 標の説明		発行件数÷利用件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	63.4	69.0	69.9		
目標	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0
目標達成度	0.96	1.05	1.06		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	申込者の対象者に占める割 合（%）	指標式と指 標の説明		申請者数÷対象者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	3.6	3.6	3.5		
目標	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
目標達成度	72.0	72.0	70.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
C	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
C	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
廃止	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		高齢者の相互交流や親睦に対して効果を見出すより、生活扶助の面が強く、銭湯や利用者から継続の要望が強いが、本来の目的からは逸脱している。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 現在、入浴助成の色が強く、健康づくり、仲間づくりを含めた事業展開が必要と考えられる。			14 課題として認識されたこと 高齢者の増加に伴い、利用申請者及び利用者が増加しており、限られた予算内での実施が難しく、廃止を含め検討が必要。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
廃止	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		担当課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、廃止を検討する。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	廃止			